

## 第4節 人口・世帯数の動向

4町の人口は、昭和55年に38.2千人でしたが、平成2年まで減少し、平成7年に一度増加しましたが、その後再び減少し、平成12年にはおよそ3万8千人（京都府の1.4%）となっています。

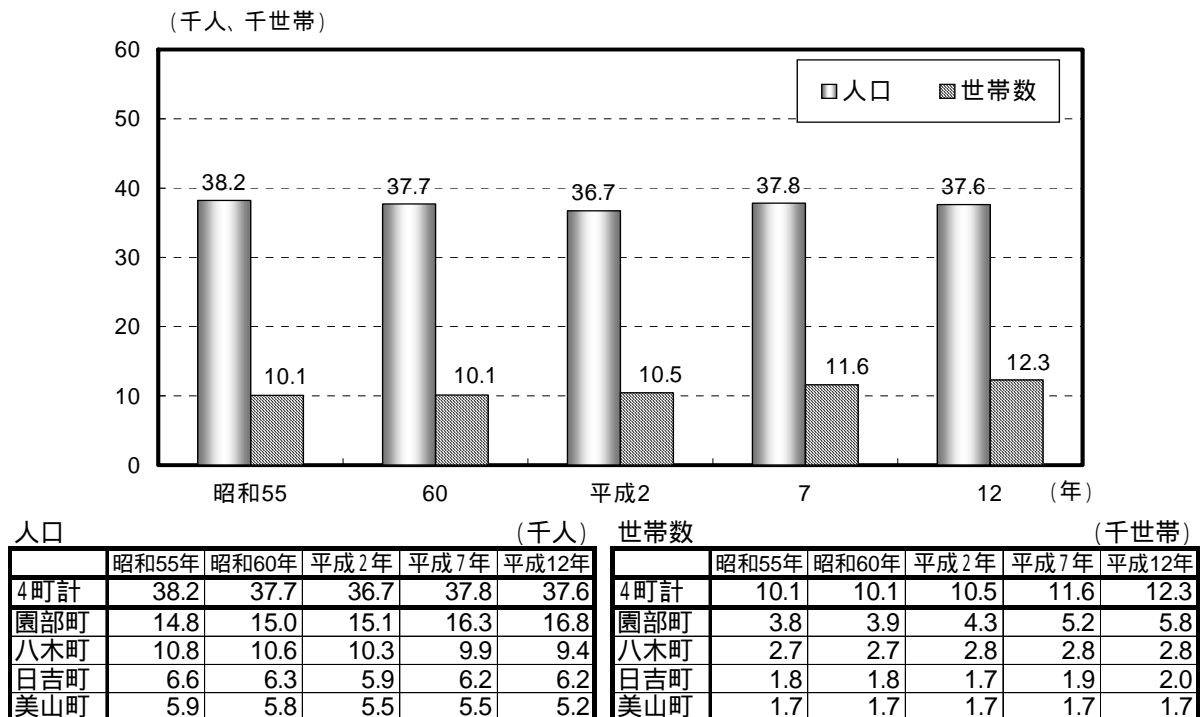
一方、4町の世帯数は、増加傾向にあり、平成12年では約1万2千世帯となっています。

20年前の昭和55年の人口を100として、その後の人口の推移についてみると、4町のなかでは、昭和55年以降、園部町は増加傾向にあります。また、八木町と美山町は減少傾向にあります。また、日吉町は、日吉ダム建設にともなう水没者の町外移転により平成2年に落ち込みましたが、平成7年には少し増加しました。

また、平成12年における年齢3区分別の人口割合は、4町計は京都府や全国の平均よりも高齢人口割合が高く、生産年齢人口割合が低くなっており、この傾向は園部町を除く地域で強くなっています。

なお、4町計の年少人口割合については、全国を下回りますが、京都府の平均を少し上回っています。

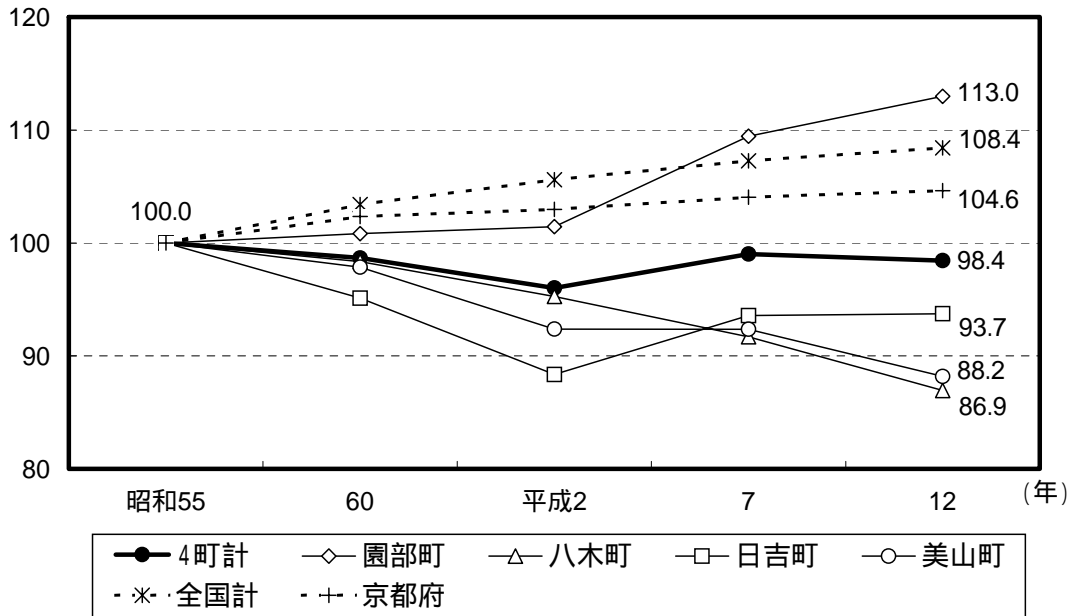
図表 2-4 人口・世帯数の推移



(注) 世帯数は一般世帯数の値です。

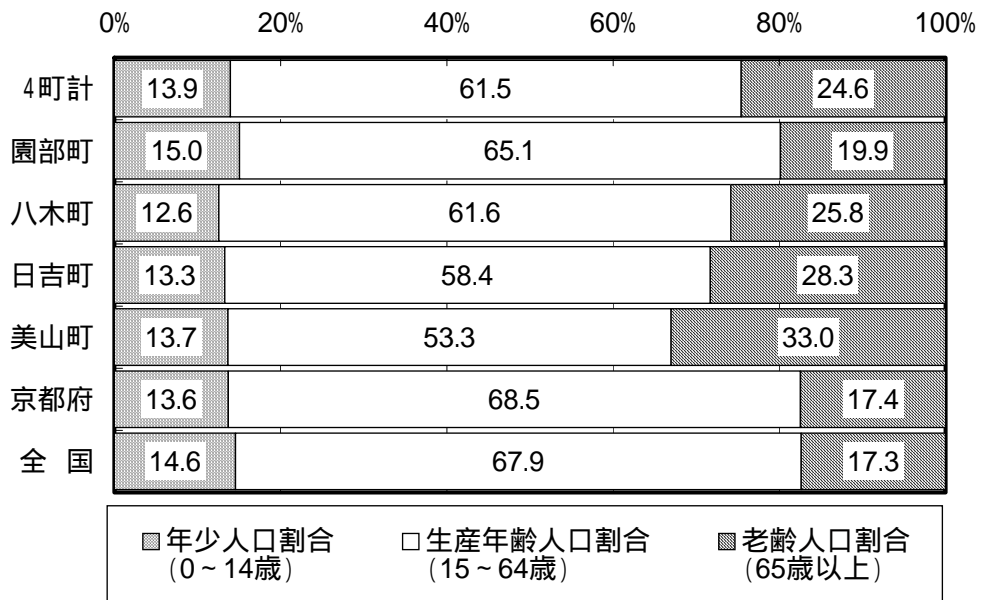
(資料) 総務省「国勢調査報告」

図表 2 - 5 昭和 55 年を 100 とした場合の人口の推移 (指数)



(資料) 総務省「国勢調査報告」

図表 2 - 6 年齢 3 区分別人口割合 (平成 12 年)



(資料) 総務省「平成 12 年国勢調査報告」